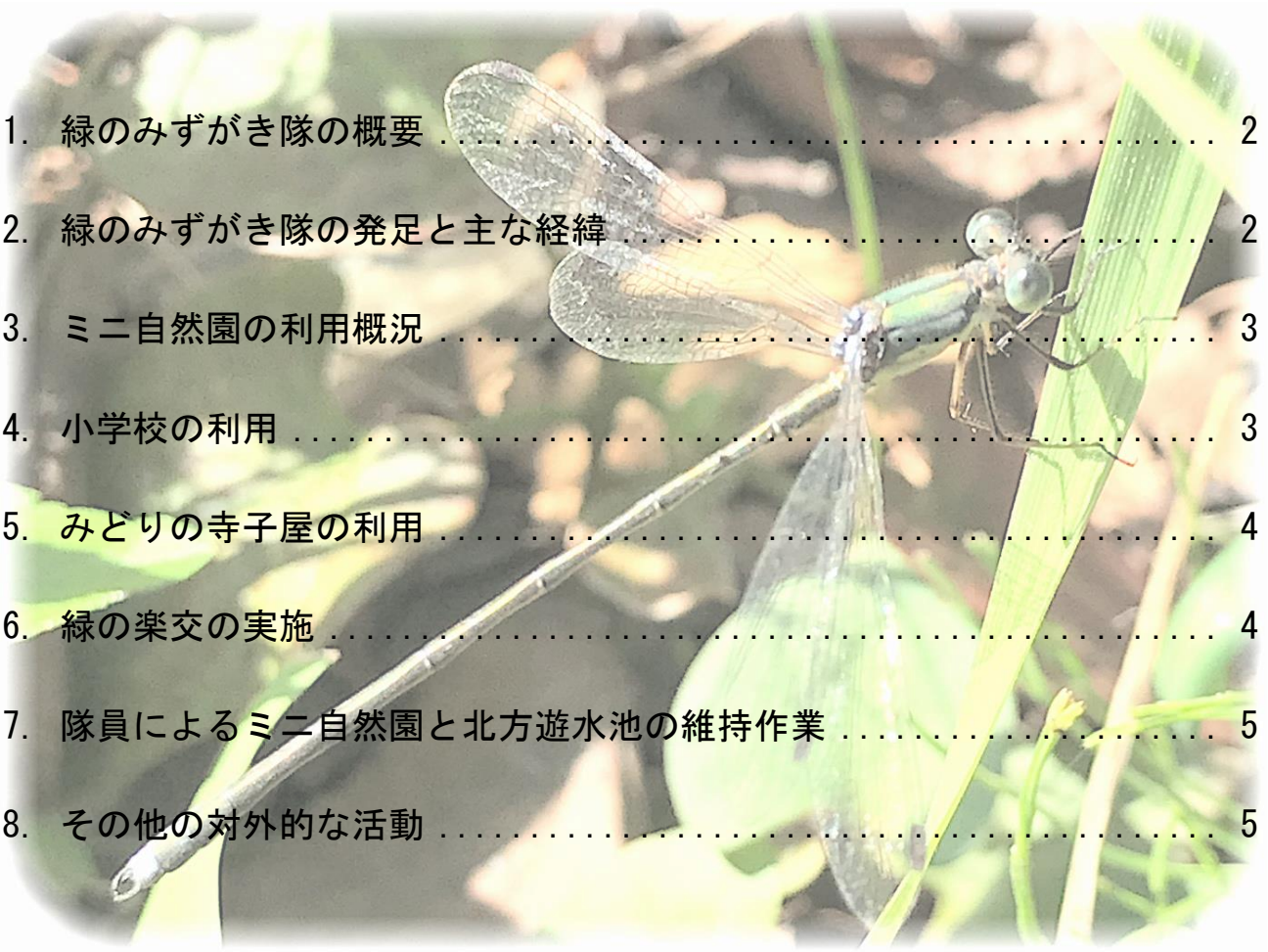
２０２１年度

緑のみずがき隊

活動報告書



1. 緑のみずがき隊の概要 2

2. 緑のみずがき隊の発足と主な経緯 2

3. ミニ自然園の利用概況 3

4. 小学校の利用 3

5. みどりの寺子屋の利用 4

6. 緑の楽交の実施 4

7. 隊員によるミニ自然園と北方遊水池の維持作業 5

8. その他の対外的な活動 5

（オオアオイトトンボ♂、北方ミニ自然園にて 2021 年 11 月撮影）

1. 緑のみずがき隊の概要

私達「緑のみずがき隊」は、「北方生きもの子どもミニ自然園」（北方町４丁目市民プール前、略してミニ自然園と呼ぶ）と北方遊水池（大柏川第一調節池緑地）で活動するボランティアグループです。２０２２年３月現在、隊員は５２人です。

現在失われつつある身近な水辺の自然環境を復元し、ボランティア自身が自然に対する意識を高めるとともに、子どもたちをはじめ多くの方々に、直接自然と触れ合えるフィールドを提供するための活動をしています。隊員は毎月第２，第４土曜日に共同で維持作業を行い、平日も近隣の学校（主に小学校）が生きもの観察や稲作体験の授業でミニ自然園を利用するお手伝いをしています。また、地元の自然や文化を再発見してもらう環境教育プログラム（「みどりの寺子屋」や「緑の楽交」）を隊自身で開催しています。

緑のみずがき隊はミニ自然園の地主さんはじめ地元の方々の理解や協力をいただき、ミニ自然園は子どもからお年寄りまで幅広く親しまれる憩いの場となっています。

2. 緑のみずがき隊の発足と主な経緯

1994 年 12 月　千葉県と市川市は、北方遊水池の全面を良好な自然環境に配慮して整備・利用することを決定。

1995 年 4 月　市川緑の市民フォーラムが、ボランティアを募り、県の理解を得て遊水池予定地内で自然環境を復元する実験池を作り始める。WWFJ の助成を受ける。

1996 年６月　調節池の築造工事に伴い、実験池が予定地内で移転。98 年３月まで活動。

1998 年７月　県の仲介で北方遊水池に隣接する市管理地へ移転。当時、市が雨水貯留の治水で補助金を出し地権者から借りていた休耕田で、フォーラムは８６１㎡の使用を市から許可され池や水路、教育水田など自然環境復元を再開。その後、この補助金制度は廃止され、地権者の厚意で緑のみずがき隊が土地の借用を継続。

1998 年８月　「北方生きもの子どもミニ自然園」（略してミニ自然園）と命名。

1998 年 11 月　池掘りボランティアのメンバーを中心に、「緑のみずがき隊」が発足。

1999 年 10 月　緑のみずがき隊が市の環境活動団体に登録。

1999 年 11 月　ミニ自然園に近くの別の休耕田６５４㎡も追加。

2000 年度～2007 年度　県や市の主催し北方遊水池の利用を検討するワークショップ（大柏川調節池ワークショップ・整備検討会・北方遊水池の会）に、積極的に参加。

2006 年２月　「北方ミニ自然園の保全を求める要望書」と「大柏川流域の水と緑の回廊構想の提案書」をフォーラム･真間川の桜並木を守る市民の会と共に市川市長へ提出。同回廊計画を 2008 年４月、2009 年１月、2010 年７月に同市へ政策提案し、採択される。

2007 年６月　北方遊水池が大柏川第一調節池緑地として一般開放。市の同意を得て同緑地のボランティア活動（観察会開催や草刈・清掃作業など）に参加を開始。

2014 年４月　地権者の許可を得て井戸を設置。　同年 11 月　市川市景観賞を受賞。

2016 年６月　市川市の推薦で、千葉県環境功労者知事感謝状を表彰される。

2020 年８月　「北方ミニ自然園の保全を求める再度の要望書」を市川市長に提出。

2020 年 11 月　市川市社会福祉協議会から社会福祉事業の功績により感謝状を受ける。

3.　ミニ自然園の利用概況

緑のみずがき隊が掌握している２０２１年度にミニ自然園を利用した延べ人数（隊員を除く）は次の通りです。

分類	内容	利用者数	備考
小学校の利用	稲作体験	５５６	３校、引率者を含む
みどりの寺子屋	稲作体験	１７３	隊主催で５回開催
合　計		７２９	利用者数は延べ人数

※その他にミニ自然園は、野草摘み、昆虫採取など、子どもからお年寄りまで地元の方々が四季を通じて多数、利用されています。

4.　小学校の利用

ミニ自然園の利用

月	日	時間	学校名	学年･児童数(引率者数)	隊の補助数	内容
5	10(月)	9:30～10:30	若宮	5年・38 (5)	7	田植え
	11(火)	9:00～11:30	大野	5年・58 (3)	9	田植え※
	12(水)	9:00～11:30	若宮	5年・71 (5)	5	田植え※
	14(金)	9:00～10:30	北方	5年・34 (3)	7	田植え
	26(水)	9:00～11:45	大野	5年・58 (2)	7	田植え※
6	28(月)	9:00～11:00	若宮	5年・36 (4)	6	除草
7	6(火)	9:00～11:40	大野	5年・58 (3)	7	除草､網掛け※
	8(木)	9:00～11:40	若宮	5年・72 (3)	7	除草,網掛け※
	9(金)	9:40～11:00	北方	5年・35 (3)	7	除草
	12(月)	9:00～11:40	大野	5年・57 (4)	6	除草､網掛け※
9	12(日)	8:30～11:30	北方･若宮	(4)	10	稲刈り
年間合計				517 (39)	78	

※感染予防のため、１クラス毎に時間差で実施

学校への出張指導

月	日	時間	学校名	参加学級数	隊の補助数	内容
5	18(火)	9:00～12:00	冨貴島	4	2	田植えの指導
10	12(火)	8:00～12:30	若宮	3	7	脱穀
	14(木)	8:00～10:00	北方	1	7	脱穀
	25(月)	8:00～10:30	大野	4	6	脱穀
12	9(木)	8:00～16:00	若宮	3	7	わらないリース
	14(火)	8:00～12:30	大野	2	8	わらないリース
	15(水)	8:00～12:30	大野	2	7	わらないリース
年間合計				19	44	

5. みどりの寺子屋の利用

北方ミニ自然園で環境教育プログラム「みどりの寺子屋」を５回行いました。

月　日	テーマ	参加数		内　容
		一般	隊員	
4月18日(日)	食べられる野草の観察	24	9	野草を観察し、食べられる野草を摘んで持ち帰る
5月15日(土)	田植えと水辺の生き物観察	34	14	稲苗を田に入って手で植え、生き物も観察
7月17日(土)	かかしを作ろう！	24	12	鳥除けの人形を工夫して作り田んぼに立てる
10月16日(土)	収穫祭	53	25	餅つき、市川の民話を聴く
11月13日(土)	わらないリースとしめ縄作り	38	10	稲わらを使ってリースやしめ縄作り
年間合計		173	70	

※雨天のため「食べられる野草」は延期して実施。

※「稲刈り」「脱穀」「春の水辺の自然観察」は新型コロナ感染症拡大で中止。

6. 緑の楽交の実

北方遊水池で環境教育プログラム「緑の楽交」を２回行いました。

月　日	テーマ	参加数		内　容
		一般	隊員	
10月2日(土)	秋のトンボ調査	37	13	遊水地とミニ自然園でトンボを捕まえ種類を調べる
12月18日(土)	冬の野鳥観察	8	12	カモ類など水辺の野鳥を観察
年間合計		45	25	

※「夏の水辺の自然観察」は新型コロナ感染症拡大で中止。

4月 18 日みどりの寺子屋「食べられる野草」

5月15日みどりの寺子屋「田植え」

7. 隊員によるミニ自然園と北方遊水池の維持作業

月・旬	内　　容	延人数
４月上	広場枝整理　納屋前田施肥　学校田、水神池、奥田、水路除草　チェーンソー整備	9
４月下	広場、学校田、表水路、奥田、草刈　竹整理	11
5月上	学校田水出入り整備　学校田竹撤去　学校田,納屋前田、水神池除草　水路整備	17
５月下	道路脇草刈　学校田奥田田植え　表水路泥さらい　遊水地フェンス脇草刈	11
６月上	広場、水神池、奥アシ民家脇草刈　奥水路泥さらい　奥田水入れ	9
６月下	広場刈草片付け　納屋前田除草　納屋前田肥料　畑草取り	13
７月上	学校田草刈除草　網補修　水口整備　水ポンプ調整	7
７月下	学校田、納屋前田網掛け　納屋前田給水　納屋前田上層	14
８月上	コロナ自粛	
８月下	広場草刈　学校田草刈　奥田稲刈り　奥田稲刈り　稲木掛け造り　稲縛り	18
９月上	学校田、納屋前田草刈	7
９月下	脱穀　イナゴ捕り　籾のままウルチ、モチ　コンテナ収納	23
１０月上	広場、民家脇草刈　網収納　カカシ整理　カマド準備　学校脱穀準備	10
１０月下	広場、キショウブ池草刈　ショウブ池アシ狩り　学校田畔草刈　草集め	12
１１月上	広場、納屋前田、ショウブ池、奥田草刈納屋前田除草　道路脇草取りわらスグリ	13
１１月下	学校田、納屋前田、株ふみ　キショウブ池オオフサモ除去納屋片付井戸コマ補修	20
１２月上	コロナ自粛	
１２月下	ヤナギ枝切り	2
１月上	キショウブ池草刈除草　切り枝整理　低木枝切り　ホダギ設置	9
１月下	コロナ自粛	
２月上	側溝清掃　ヤナギ池泥さらい　奥水路～全体水路泥さらい　井戸側溝パイプ泥除	7
２月下	サトイモ畑植え込み準備掘り　アカガエル保護網　　苗木植え	7
3月上	田除草（デンジソウ他）　　水口整備	9
3月下	施肥（牛糞）　　サトイモ肥料（鶏糞）	8
	年間合計	236

北方遊水池外周部の草刈
６月 21～24 日　６人、　７月 20～23 日　９人、10 月 21～24 日　６人、　合計延べ 21 人参加

北方遊水池外周部の清掃（ゴミ拾い）
毎月２回　合計 24 回、延べ 38 人参加

※主に第２、４土曜日に隊員で共同作業を行いました。北方遊水池の草刈・清掃活動は、「市民参加による公園等の管理作業に関する要綱」に基づいて市川市と協定を結び、実施しました。

8. その他の対外的な活動

５月 30 日、6 月 26 日、7 月 24 日、9 月 18 日、11 月 20 日、1 月 20 日、3 月 20 日に、西廣淳氏（国立環境研究所）の仲介で、市川市生活環境整備課・ぼっけ生きもの倶楽部と北方遊水池の保全と活用について意見交換を行った。

４月 23 日、6 月 29 日、10 月 6 日に市川市生活環境整備課と、11 月 16 日に市川市公園緑地課とミニ自然園の保全について意見交換を行った。

千葉県葛南土木事務所に大柏川第二調節池の築造で自然環境へ配慮するよう求め、他団体と共同して、11 月に同事務所へ質問書を提出し、１月に同事務所と意見交換を行った。

・2021 年度市川市市民活動団体事業補助金制度（いちかわ市民活動ｻﾎﾟｰﾄ）に申請し承認される。

・北方遊水池に関して、市民団体や有志と市川遊水池連絡会を持ち検討した。

7月17日、みどりの寺子屋「かかし作り」

12月18日、緑の楽交「野鳥観察」

10月16日、みどりの寺子屋「収穫祭」

11月13日、みどりの寺子屋「わらない」

２０２２年３月発行

緑のみずがき隊

事務局　住所：272-0805 市川市大野町３－１４１　森角方

電話０９０－８７７７－７１８６　FAX０４７－３３８－１５３５

ニホンアカガエル、北方ミニ自然園にて 2021 年 11 月撮影。